

令和8年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会 議	部会名	第2回就業支援部会	日 時	令和8年10月9日(金) 13:30 ~ 15:30
	会場	伊那市防災コミュニティセンター 多目的ホール	参加者人数	集合 47 人 YouTube 23 人 合計 70 人
主 題 マ	1.協議内容 1) 上伊那圏域における障がい者雇用の状況について 2) 講義 2.グループワーク 3.その他			
内 容	1.協議内容 1) 上伊那圏域における障がい者雇用の状況について 上伊那圏域における障がい者雇用の現状や求職・就職状況について情報共有を行った。 2) 講義：「見えにくい発達障がいの特性」を理解すると皆の行動が変わる！ ～明日からできる少しの工夫で安心・安全な社会生活へ～ 講師：松本圏域発達障がいサポートマネージャー・産業カウンセラー ア：「発達障がい児・者」の特徴 発達障がいは外見からは分かりにくく、周囲から「わがままな人」「社会常識がない人」と誤解されることがある。こうした誤解や否定的な経験が積み重なると、本人の自己肯定感が低下し、自己不全感を抱えるようになる。その結果、精神疾患などの二次障害につながる可能性があるため、支援においては二次障害を予防することが重要である。 イ：明日から実践できるコミュニケーションの工夫 相手に伝わる話し方を意識し、安心して関われる環境をつくることが重要である。 <ul style="list-style-type: none"> ● 視覚的に伝える： 写真やスライド、具体物などを活用し、目で見て理解できるようにする。スマートフォンの写真機能など、身近なツールも有効である。 ● 最初の関わり方を大切にする： 第一印象や出会ったときの立ち位置が、その後の関係性に影響することを意識する。 ● 圧迫感を与えない位置で接する： 正面から向き合うよりも、横並びで関わることで、相手の緊張や圧迫感を和らげる。 ● 穏やかな表情と動作を心がける： ゆったりとした動作や穏やかな表情によって、「安心してよい」「怒っていない」というメッセージを伝える。 ● 短く、分かりやすく伝える： 大きな声を避け、小さな声で簡潔に話す。長い説明は相手の情報処理の負担となるため、短い言葉で具体的に伝える。 ● 肯定的な言葉がけをする： 「走っちゃダメ」ではなく「歩こう」、「いい加減にきなさい」ではなく「あと何分で終わる？」など、してほしい行動を具体的に伝える。 注意や叱責は簡潔にし、できたことや小さな反応を繰り返しほめることが大切である。行動の結果だけでなく、返事をしてくれたことや反応を示してくれたこと自体を認め、肯定的に伝える。笑顔も相手を認める大切な表現であり、ほめられる経験は自信や意欲につながる。			

	<p>2. グループワーク</p> <p>各テーブルにて講義を聞いての感想や発達障がいの方の支援をする上で、困っていることの発表と意見交換が行われた。</p> <p>3. その他</p> <p>(1) 閉会後に情報交換の場「おしゃべりカフェ」の開催</p> <p>(2) 今回の部会に参加できなかった方に向けて YouTube での録画配信の案内</p>
まとめ	<p>・発達障がいへの理解を深め、二次障害の予防に向けたストレス反応の早期発見と適切な対応の重要性と、視覚的で分かりやすい伝え方や肯定的な声かけ、ほめる関わりを通じて、信頼関係の構築と自己肯定感を育む支援について学んだ。</p>
次回	<p>令和9年1月8日(金)13時30分～ 会場：伊那市防災コミュニティセンター 多目的ホール</p> <p>内容：利用者の成長と工賃向上を実現する支援・指導の在り方(仮)</p>